

**平成26年度予算概算要求に関する
近畿地方整備局の事業概要**

平成25年8月

国土交通省近畿地方整備局

平成26年度予算概算要求の基本方針

国土交通省においては、下記の基本方針のもと平成26年度予算概算要求を行います。

- 防災・減災や老朽化対策等による国土強靱化を推進し、経済成長や生活向上の大前提である安全・安心の確保を図る。また我が国の成長実現に向け、国際競争力の強化、時代の変化に対応・先取りした、新たな経済発展の基盤となる戦略的な取組を展開していく。これらの分野に重点を置き、予算のメリハリをつける。
- 各事業・施策分野においては、ハード・ソフトの手段の選択・組み合わせを適切に行い、その目的・成果に踏み込んできめ細かく重点化し、限られた予算で最大限の効果の発現を図る。

これらを踏まえて、近畿地方整備局においては、南海トラフ巨大地震への備えをはじめとした防災・減災対策や社会資本の老朽化対策、及び国際競争力を高めるための阪神港や近畿圏の環状道路の整備等、必要な社会資本整備を効率的・効果的に進めてまいります。

< 目 次 >

I. 国民の安全・安心の確保	
(1) 防災・減災	 1
(2) 老朽化対策	 13
II. 経済・地域の活性化	
(1) 国際競争力の強化	 16
(2) 地域の活性化と豊かな暮らしの実現	 21
III. 主な開通予定箇所・完了予定箇所	 23

平成23年台風12号災害等の激甚な水害・土砂災害が生じた地域等における災害対策

■ 河道閉塞等に起因する土砂災害への対応

平成23年9月台風12号により生じた、奈良県及び和歌山県内の河道閉塞箇所（赤谷、長殿、栗平、北股、熊野）、大規模土砂災害箇所（清水（宇井）、坪内、三越）及び那智川の土石流被害箇所について、流域の早期安全確保のため、必要な災害対策を進めています。

○河道閉塞箇所：閉塞土砂の崩壊を防ぐため、閉塞土砂の端部を抑える砂防堰堤を設置します。



堰堤基礎部改良状況



熊野地区（和歌山県田辺市）

○大規模土砂災害箇所：斜面に残る崩壊土砂の排土及び斜面抑止工を実施します。



崩壊斜面对策状況



清水（宇井）地区（奈良県五條市）

○土石流被害箇所：砂防堰堤を設置します。



堰堤設置状況（樋口川）



那智川
（和歌山県那智勝浦町）

■ 平成23年洪水への対応

熊野川河川激甚災害対策特別緊急事業

おの だに
熊野川及び支川相野谷川では、平成23年9月台風12号による計画規模を超える洪水により、浸水家屋が3,000戸を超える甚大な被害が生じたことから、平成23年度より直轄河川災害復旧事業を実施し、平成24年度からは激甚災害対策特別緊急事業により、河道掘削及び築堤等を実施しています。



旧熊野川大橋からの越水（右岸）



※本川掘削後の水位は一定の条件による計画値であり全ての条件において必ずしも保証されるものではありません。

予防的な治水対策の強化

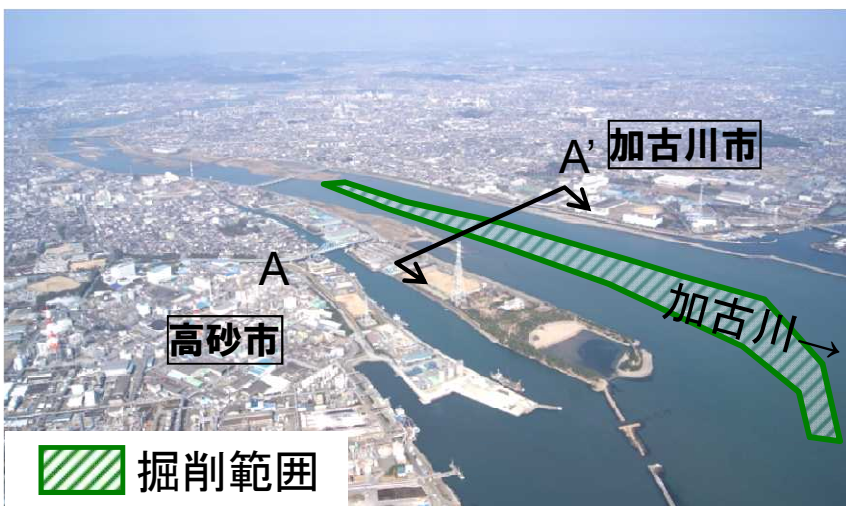
■ 事前防災・減災対策

加古川河口部掘削

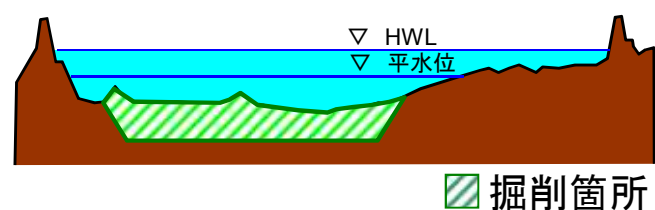
加古川下流部は、播磨臨海工業地域として重化学工業が盛んであり、堤内地に多くの人口・資産が集中していますが、河床勾配が緩く、堰や橋梁などの横断工作物が多いことから、洪水が流れにくい状況です。そのため、河口部から順に流下断面を大きくする河道掘削を進めています。



平成25年8月撮影



A-A'断面 横断図



平成24年7月の九州の豪雨災害を踏まえ、管内の直轄河川の堤防等について緊急点検を行い、堤防の崩壊のおそれがある、流下能力が不足しているなど対策が必要な区間を抽出しました。
この結果を踏まえ、堤防強化や河道掘削などの対策を実施しています。

近畿管内の一級水系の直轄河川堤防延長 **L=約1,030km** ※堤防不要区間を除く

↓ 洪水等に際して水防上特に注意を要する箇所、又はそれと同程度の箇所を抽出

近畿管内 点検対象堤防延長 **L=約740km**

↓ 今回の被災を踏まえて、被災履歴、堤防詳細点検結果等の
既存データを活用しつつ再確認

点検結果

要対策延長 L=約300km

○堤防の浸透に対する安全性

- ・過去の漏水実績等、浸透により堤防が崩壊するおそれのある箇所
→約100km



砂でつくられた堤防(木津川下流)

- ・旧河道跡等、パイピング(地盤内にパイプ状の水の通りみちができること)により堤防が崩壊するおそれのある箇所
→約90km



浸透に対する安全性が不足する箇所(野洲川)

○流下能力の不足箇所

- ・無堤や、堤防高が局所的に低い等、当面の目標に対して流下能力が不足している箇所
→約120km



流下能力の不足箇所(大和川) 掘削範囲



流下能力の不足箇所(加古川) 掘削範囲

○水衝部等の侵食に対する安全性

- ・河床が深掘れしている箇所や水衝部(洪水の流れが堤防に直接あたる箇所)等、河岸侵食・護岸損壊のおそれがある箇所
→約20km

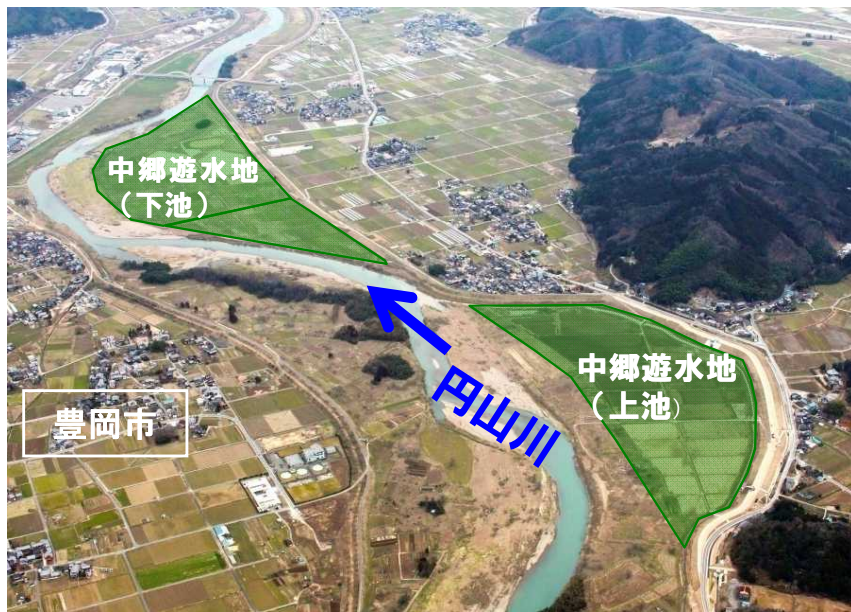
なかのこう

■ 円山川 中郷遊水地の整備

円山川では、平成16年台風23号により直轄区間の2ヶ所で堤防が決壊するなど甚大な被害が生じたため、河道掘削や築堤等を実施してきました。

しかし、安全に洪水を流下させるために必要な堤防高が確保されておらず、また、地盤が軟弱で短期間での堤防嵩上げは困難な状況となっています。

そのため、円山川下流部や豊岡市街地の洪水時の水位低減のため、遊水地整備を実施しています。



円山川には良好な河川環境が残されており、下流域は周辺水田とともに、平成24年7月にラムサール条約湿地に登録されました。

また、流域では関係機関等が連携し、コウノトリの野生復帰実現のための環境整備が進められています。

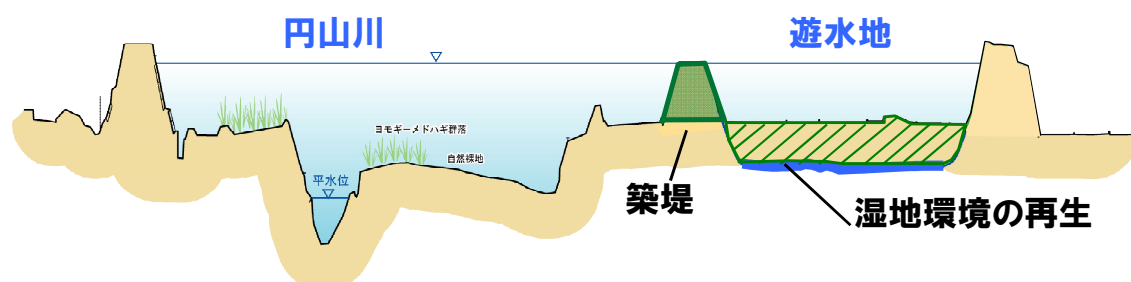
このような状況のもと、中郷遊水地の整備においては、良好な湿地環境を再生し、多様な生きものの生息・生育の場となるよう配慮します。



湿地再生の整備イメージ



ラムサール条約登録区域



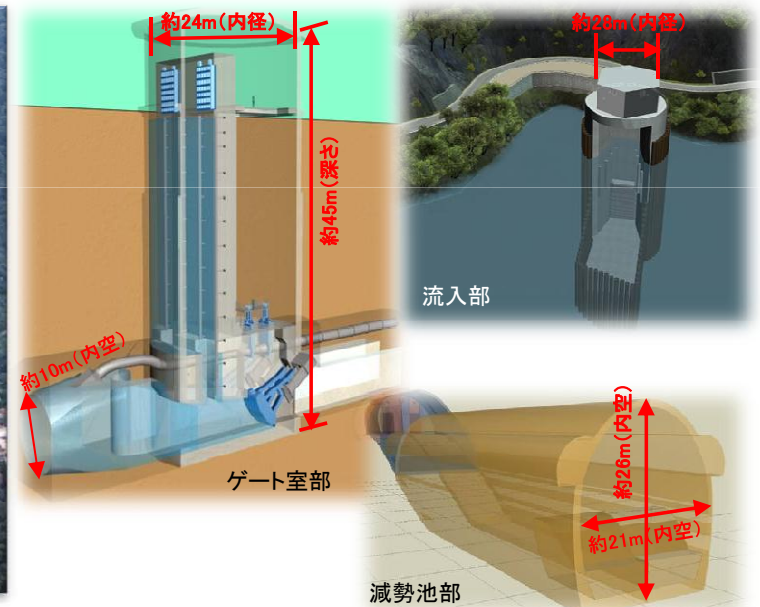
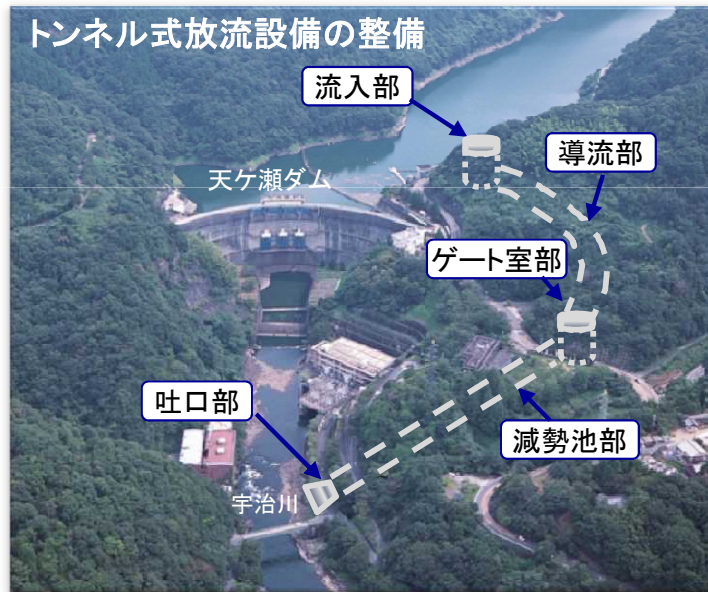
洪水被害から流域住民の暮らしを守るダム事業

ダム事業は、洪水を貯留することにより、下流の水位低下を図り洪水調節機能を向上するとともに、貯留した水による安定的な都市用水の供給や発電の増強を行い、安全・安心な生活を支えます。

あまがせ

■天ヶ瀬ダム再開発（淀川水系宇治川）

天ヶ瀬ダム再開発は、再開発工事（トンネル式放流設備）を継続して実施します。



※画像はイメージパースです。

あすわがわ

■足羽川ダム（九頭竜川水系足羽川）

足羽川ダムは、洪水調節専用目的の流水型ダムとして建設を推進します。



【検証対象事業】

だいがわ

■大戸川ダム（淀川水系大戸川）

生活再建工事段階

大戸川ダムは、生活再建工事等を継続して実施します。

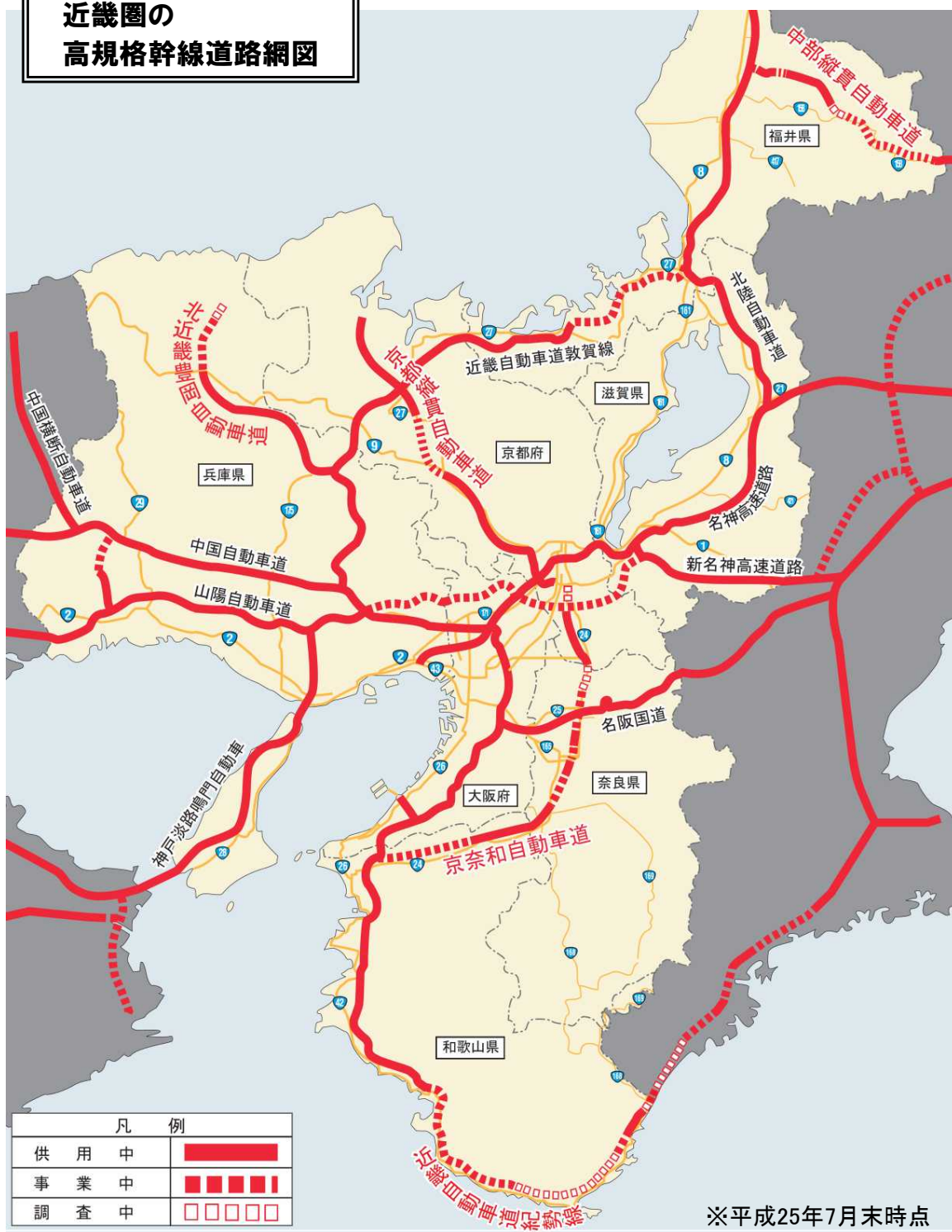
代替性確保ネットワーク整備

災害に強い広域ネットワークを構築するため、今後想定される地震、津波発生時や豪雨災害によって、現道が寸断することにより広域交通に影響を及ぼすおそれがある区間について、代替性の確保のための主要都市間等を連絡する高規格幹線道路等の整備を推進します。

【主な事業】

- 近畿自動車道紀勢線 たなべ 田辺～すさみ
- 中部縦貫自動車道 えいへいじおおの 永平寺大野道路
- 京都縦貫自動車道 たんばあやべ 丹波綾部道路 等

近畿圏の
高規格幹線道路網図



京都縦貫自動車道は、南北に長い京都府の北部地域と南部地域を結ぶ、全長100kmの高規格幹線道路です。丹波綾部道路は、京都縦貫自動車道の一部を担う延長29.2kmの道路であり、丹波綾部道路の整備により、近年の豪雨による災害時の代替路として安定した交通網が確保されます。

丹波IC～京丹波わちIC間の延長18.9kmは、平成26年度の供用を予定しています。

[illegible]

写真①



＜大朴川橋＞



＜須知第二トンネル(宮津側坑口部)＞

災害時においても信頼性の高い道路であり、国道9号、国道27号等が通行止めとなった場合でも代替路として機能し、物流や市民生活への影響を軽減することが期待されます。

信託性の高い
代替路の確保

通行規制区間
L=0.8km



擁壁変状により
全面通行止め(H23.9)

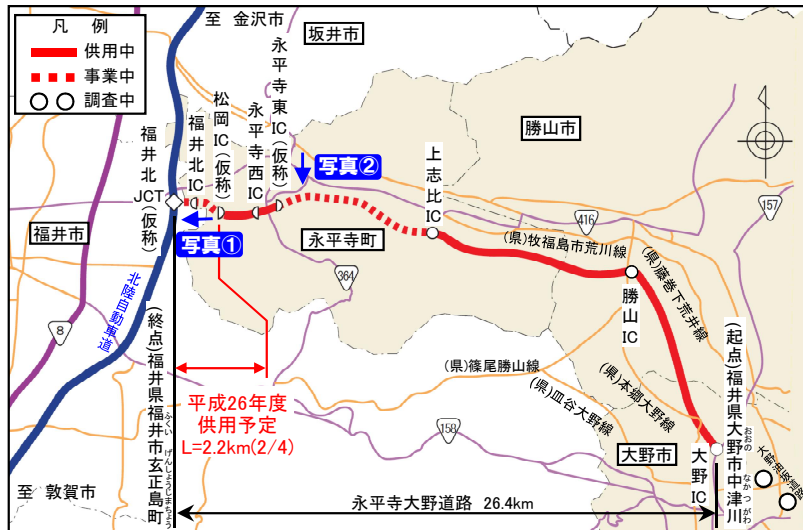
・京都縦貫自動車道 丹波綾部道路(京丹波わちIC～丹波IC) L=18.9km

えいへいじおおの

一般国道158号 永平寺大野道路(中部縦貫自動車道)

中部縦貫自動車道は、長野県松本市を起点に飛騨、奥越地方を通り、福井県福井市に至る約160kmの高規格幹線道路です。永平寺大野道路は、中部縦貫自動車道の一部を構成し、福井県大野市中津川から福井市玄正島町に至る26.4kmの自動車専用道路で、永平寺大野道路の整備により、近年の豪雨による災害時の代替路として安定した交通路が確保されます。福井北JCT(仮称)～松岡IC(仮称)の2.2kmは平成26年度の供用を予定しています。

中部縦貫自動車道(永平寺大野道路)



■工事状況写真

写真①

至 松岡IC(仮称)



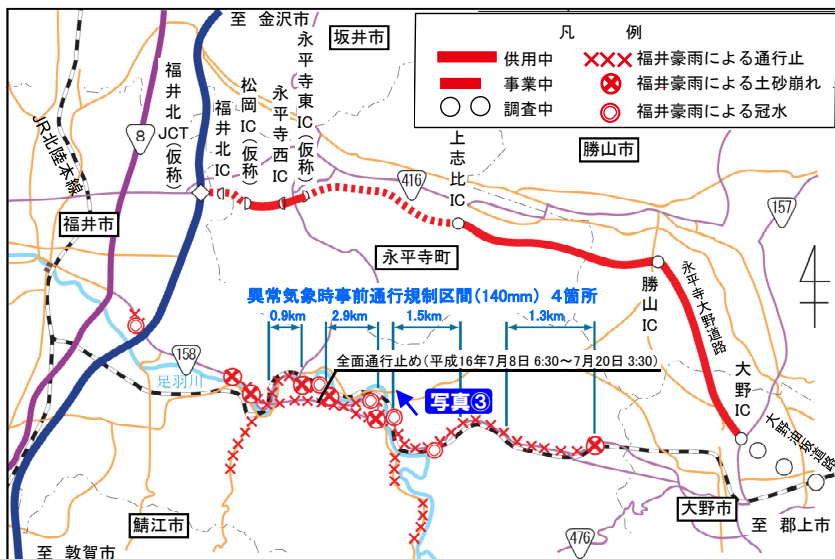
写真②

至 永平寺東IC(仮称)



■災害時の代替路の確保

並行する国道158号には雨量による事前通行規制区間が存在しています。平成16年7月18日未明の集中豪雨(福井豪雨)では国道158号が通行不能となり、国道416号に車両が集中し、渋滞が発生しました。永平寺大野道路の整備により、豪雨災害による道路寸断に対する代替性を確保します。



写真③



福井豪雨による増水で崩壊した国道158号
(福井市小和清水町付近)

■平成26年度 供用予定区間

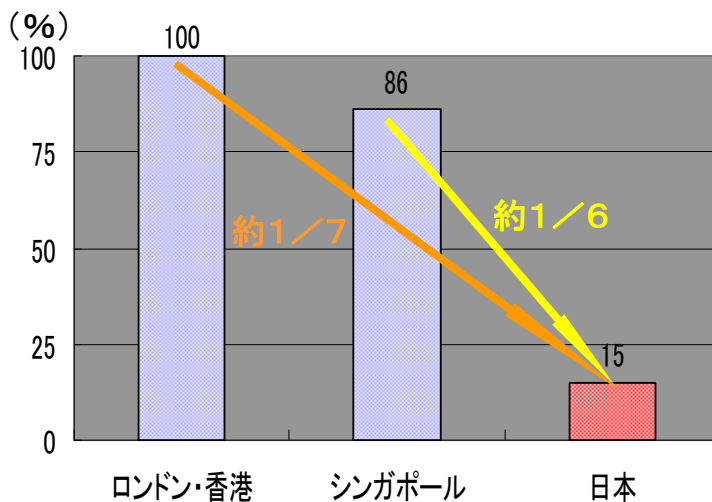
- ・永平寺大野道路 福井北JCT(仮称)～松岡IC(仮称) L=2.2km

無電柱化の推進

道路の防災性の向上、安全で快適な通行空間の確保、良好な景観の形成や観光振興等の観点から、無電柱化を推進します。

特に、道路法等の改正を踏まえ、緊急輸送道路等の防災上重要な道路における無電柱化を推進し、電柱の倒壊等による道路閉塞を防止します。

＜主要都市の無電柱化率＞



海外の主要都市に比べ、我が国の無電柱化率は立ち遅れています。

- ・日本(市街地(※1)等の幹線道路(※2))
15.3%(平成24年度末)道路延長ベース
- ・ロンドン・香港
100%(平成16年)ケーブル延長ベース
- ・シンガポール
86%(平成9年)ケーブル延長ベース

※1都市計画法における市街化区域
※2国道及び都道府県道

＜無電柱化の必要性和整備効果＞

平成7年1月阪神淡路大震災
(兵庫県神戸市長田区)

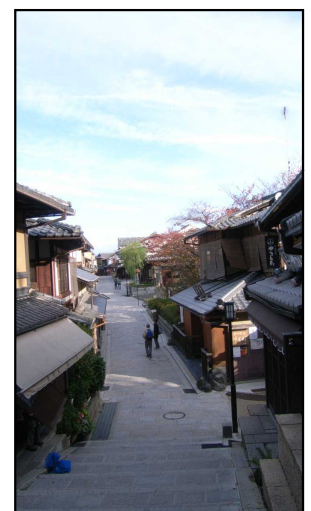


電柱の倒壊による道路閉塞

無電柱化による景観の向上
(京都府京都市東山区(産寧坂))



整備前



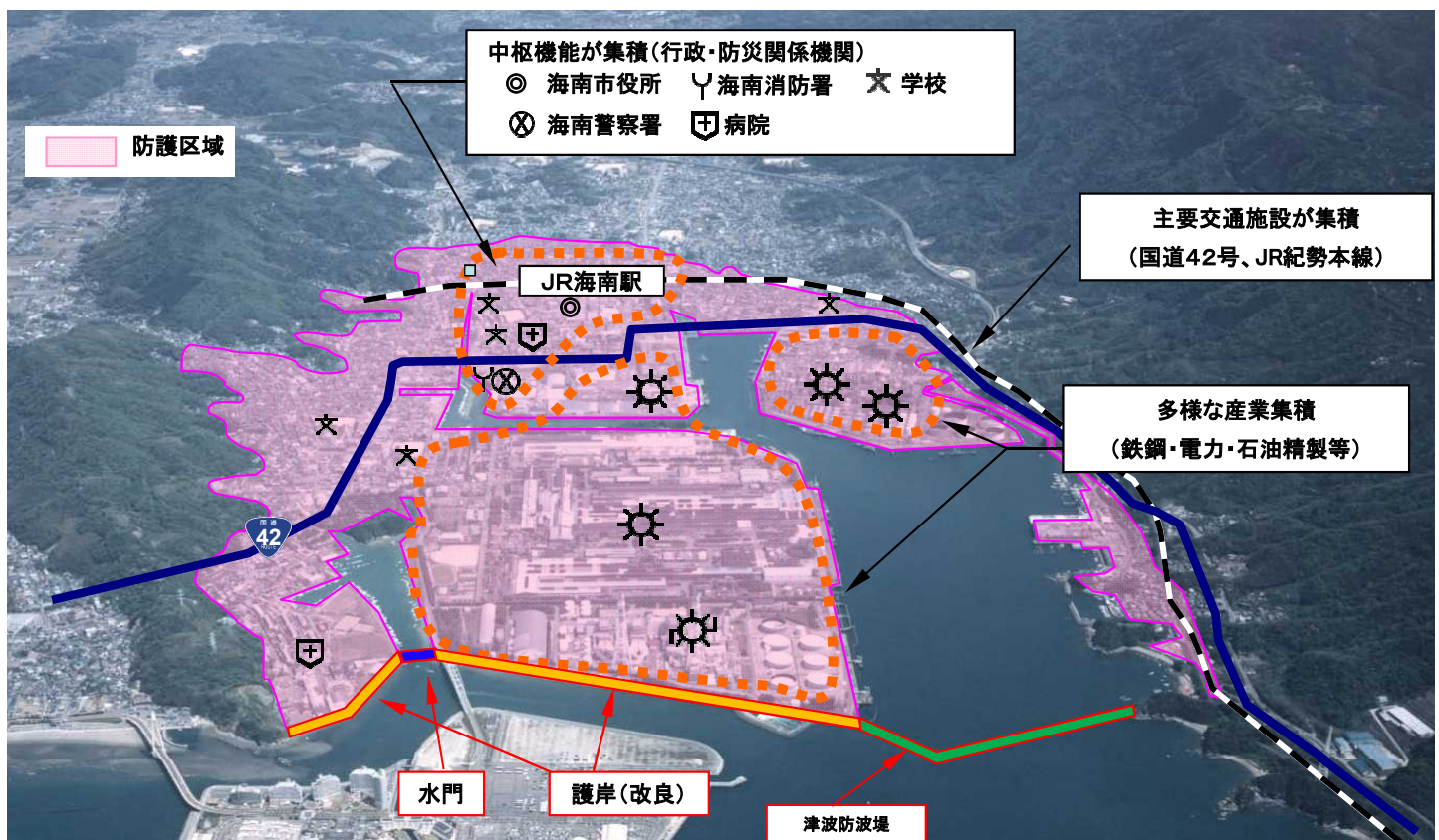
整備後

和歌山下津港海岸(海南地区)における津波対策

和歌山県海南市における津波浸水予測区域では、行政・防災中枢機能や高付加価値製品製造企業が集積しており、今後30年以内に60～80%の確率で発生するとされている東南海、南海地震等が発生した場合に甚大な被害の発生が危惧されています。このため人命・財産はもとより、これら施設の防護のため海岸保全施設の整備を推進します。

《平成26年度の予定》

水門及び津波防波堤の整備を推進します。



水門整備前



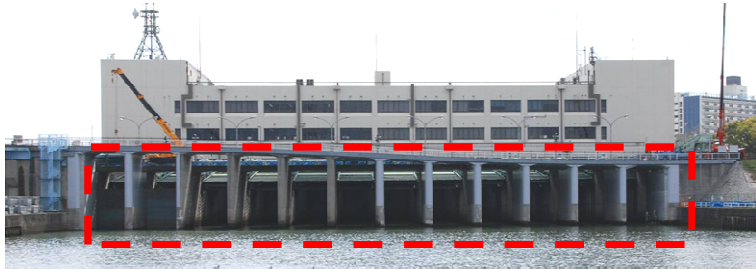
水門整備後(イメージパース図)



河川管理施設の地震・津波対策

今後30年間に60～80%の確率で発生する恐れのある東南海・南海地震に備え、堤防や水門・樋門の耐震化を行っています。

[毛馬排水機場耐震対策]



大規模地震が発生した場合においても、大阪の都心部を流れる寝屋川流域の洪水被害を防ぐための機能を喪失しないように、引き続き駆体の耐震対策を実施します。

[淀川大堰耐震対策]



大規模地震が発生した場合においても、阪神地域の安定的な取水に影響を生じないように、引き続き門柱の耐震対策を実施します。

道路の防災・震災対策

災害発生時における被害を軽減し、円滑かつ迅速な応急活動を支援するために、防災対策や震災対策を引き続き実施します。

■ 防災対策

大雨や台風等による土砂崩れや落石等の恐れがある箇所について、安全性を高める対策を実施します。

対策前



対策後



法面を安定させる対策



法面の被災事例

■ 震災対策

被災の経験を踏まえ、古い基準で建設されている道路橋について、耐震補強を実施します。

対策前



対策後



橋脚の補強



落橋を防止する装置を整備

防災拠点となる官庁施設の防災機能の強化等

○官庁施設の耐震化の推進

既存不適格建築物(耐震性能評価値1.0未満)の耐震化を行うとともに、災害応急対策活動の拠点施設としての所要の耐震性能(Ⅰ類1.5、Ⅱ類1.25)を確保するための耐震化を行います。耐震化対策に当たっては、構造体のみならず、外壁・建具などの建築非構造部材及び建築設備を含む建築物全体として、総合的な耐震安全性を確保するための整備を実施します。

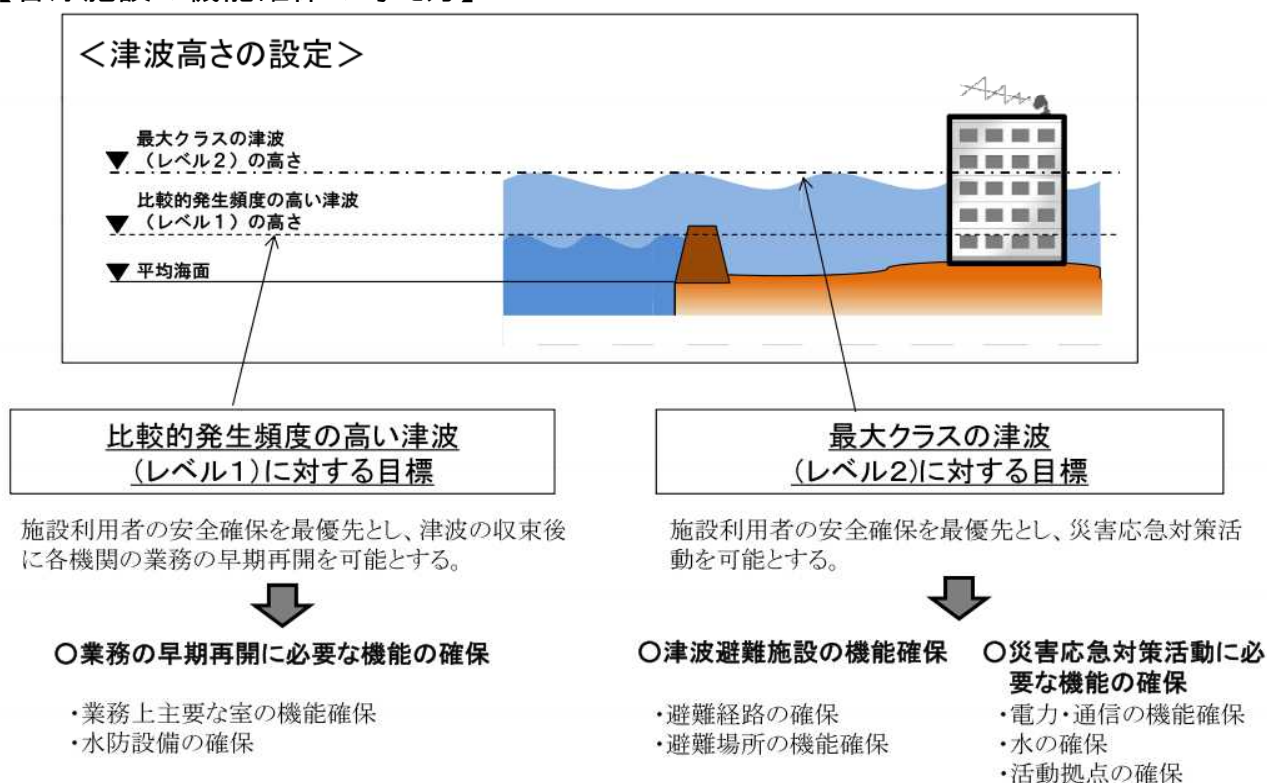
【耐震化(免震工法事例)のイメージ図】



○官庁施設の津波対策の推進

津波襲来時の一時的な避難場所を確保するとともに、防災拠点としての機能維持と行政機能の早期回復を図るため、官庁施設における津波対策を総合的かつ効果的に推進します。

【官庁施設の機能確保の考え方】



社会資本の戦略的な維持管理・更新(道路)

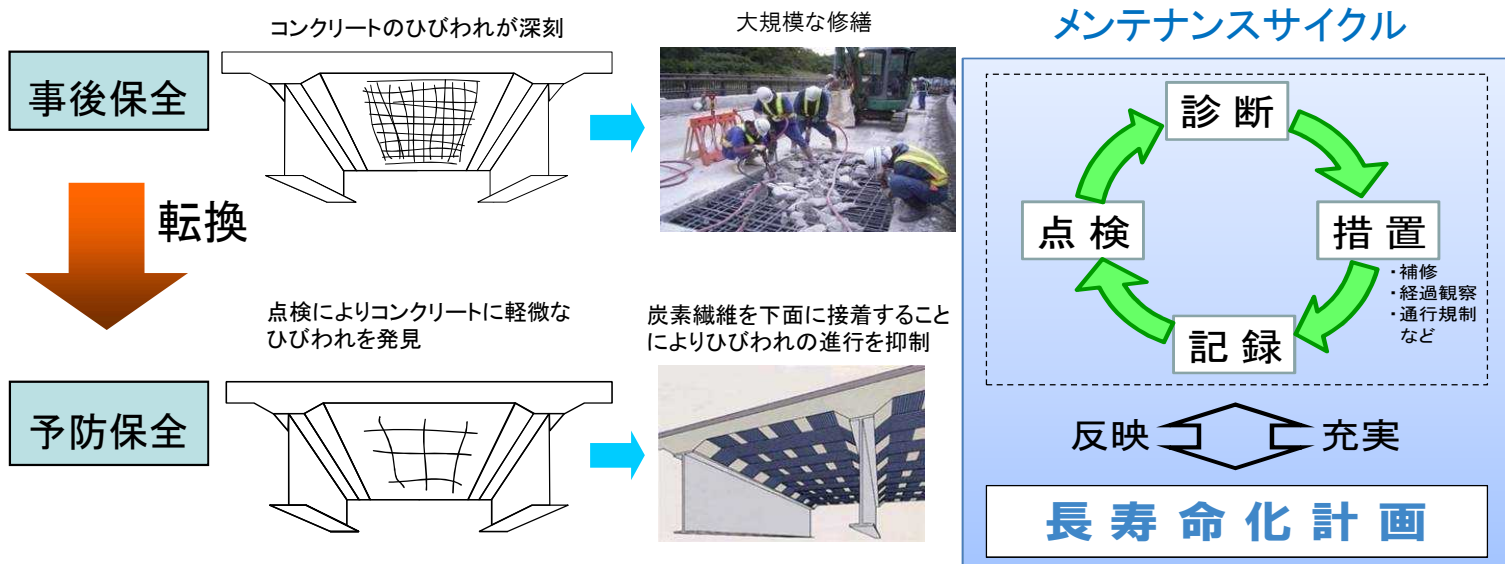
道路施設(橋梁、トンネル、舗装、のり面・土工構造物、道路附属物等)の点検を引き続き実施し、健全性を着実に把握します。

また、点検、診断、措置等のメンテナンスサイクルによる老朽化対策を推進します。

○近畿地方整備局が管理している建設後50年を超える橋梁数の割合は、2012年現在27%であるが、20年後には66%まで急増

○道路橋の長寿命化修繕計画に基づいて、計画的に予防保全を実施します。

○大規模な補修に至る前に予防的な補修を行うことで、橋梁の長寿命化を図ります。



橋梁の事例



点検状況

対策前



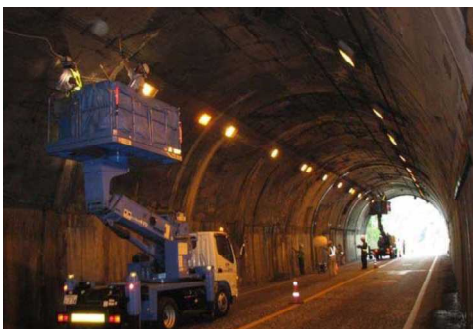
防食機能の劣化

対策後



塗装の塗替

トンネルの事例



点検状況

対策後



断面修復・剥落防止

対策後



剥落防止

社会資本の戦略的な維持管理・更新(河川管理施設)

河川維持管理データベースの構築、主要な河川管理施設毎の長寿命化計画作成等を推進するほか、河川管理施設の定期的な点検を行う事で異常の早期発見に努め、ライフサイクルコストの削減を図ると共に、既存施設の機能が持続的に発揮できるよう戦略的に維持管理を行います。

○堤防・護岸の点検、調査

堤防・護岸を定期的に巡視点検し、変状が見られた部分について詳細に調査しています。

管理通路の空洞探査



堤防損傷調査(高潮堤)



○施設の老朽化長寿命化対策

老朽化が進行し致命的な欠陥が発現する前に適切な対策を行い、施設の長寿命化を図ります。

機械設備の対策例

現況



老朽化が進行し、錆や付着物で固着した樋門可動部の補修を行う例

社会資本の戦略的な維持管理・更新(港湾施設)

老朽化による機能不全等に対する的確な対応を図るため、港湾施設の計画的かつ戦略的な老朽化対策を実施します。

大阪港 安治川内港地区



エプロン部のクラック



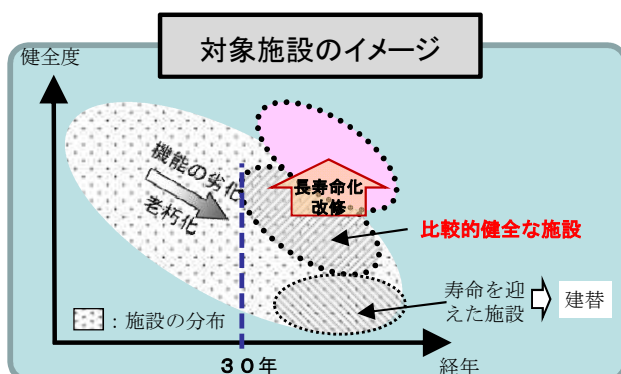
コンクリートの剥離、鉄筋露出



コンクリートの欠損、鉄筋露出

社会資本の戦略的な維持管理・更新(官庁施設)

一定地域内の全ての国家機関の建築物を対象として策定される施設整備計画について、建物の建替えや官署の組替えなどの整備手法のみを組合せる従来の方式を見直し、新たに老朽化の進行を防ぐ長寿命化の整備手法を加えた中長期の整備計画とすることにより、計画的な長寿命化事業を実施します。



長寿命化事業の主な改修内容

長寿命化事業の主な改修内容	
躯体の保護	(例) 外壁、屋上防水、建具
防災設備の劣化防止	(例) 消火設備、火災報知設備
建物ライフラインの劣化防止	(例) 給排水設備、受変電設備

効率的な物流ネットワークの強化

迅速かつ円滑な物流の実現、国際競争力の強化、交通渋滞の緩和等を図るため、環状道路の整備を推進します。

京奈和自動車道は、京都、奈良、和歌山の拠点都市を結び京阪神都市圏の外郭環状道路を構成する高規格幹線道路であり、全線の早期供用に向け、引き続き工事等を推進します。

近畿圏の
環状道路ネットワーク

※平成25年7月末時点

一般国道24号京奈和自動車道(大和御所道路)

京奈和自動車道は、京都、奈良、和歌山の拠点都市を結び京阪神都市圏の外郭環状道路を構成する高規格幹線道路です。京都・奈良・和歌山間の移動時間を短縮することにより観光振興を支援するとともに、地域の活性化に資する路線として期待されています。このうち大和御所道路は、一般国道24号の慢性的な交通混雑の緩和、交通事故減少などを目的とした道路であり、平成26年度に一部区間の供用を予定しています。

一般国道24号 京奈和自動車道



■工事状況写真

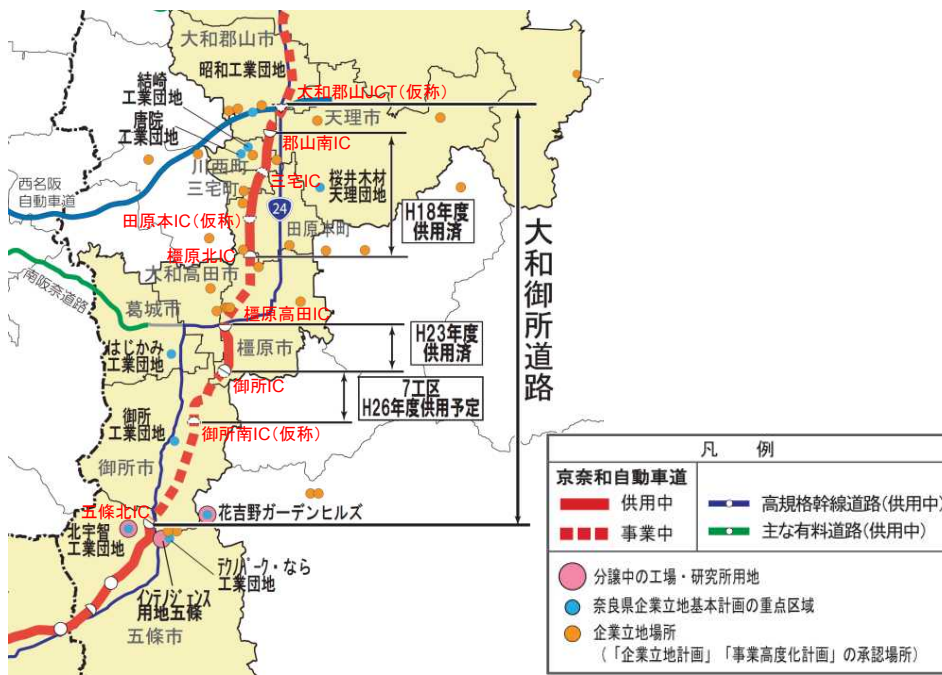
写真①



＜大和御所道路＞

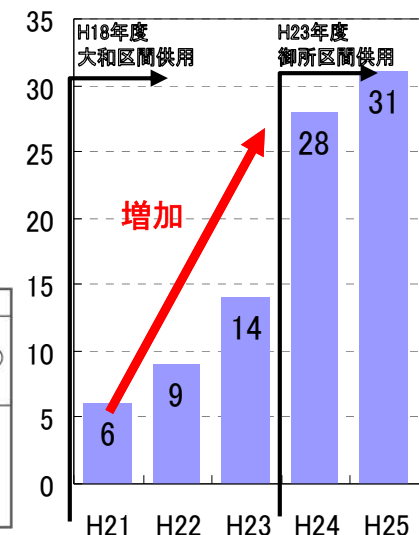
■京奈和自動車道整備による地域の活性化

大和御所道路周辺では、開通後の企業立地計画の増加による経済の活性化が期待できます。



大和御所道路周辺の企業立地計画 ・事業高度化計画の承認状況

(件) 承認件数(累積)



■平成26年度 供用予定区間

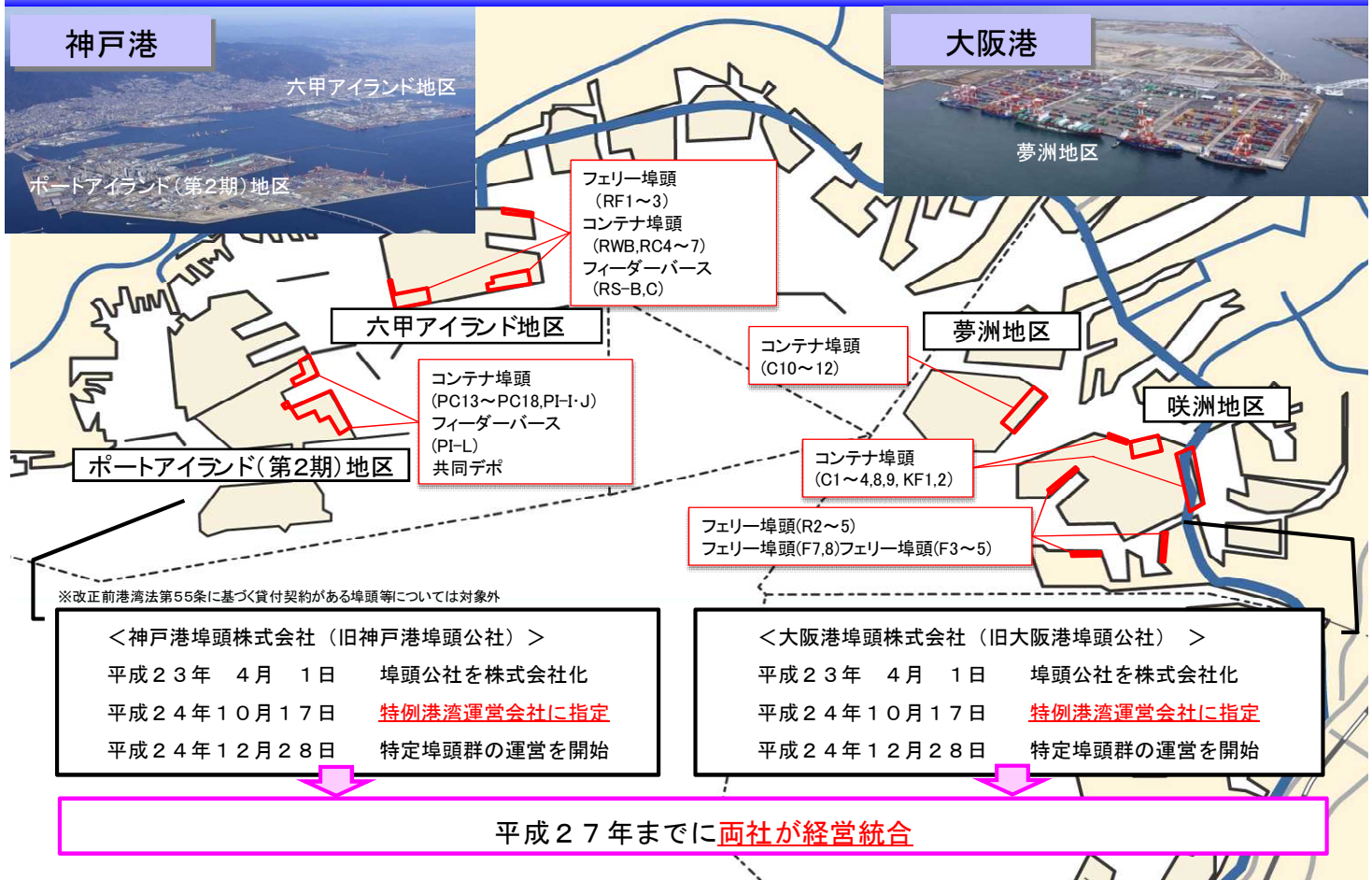
・大和御所道路(御所IC～御所南IC) L=2.5km

国際コンテナ戦略港湾「阪神港」の機能強化

コンテナ船の更なる大型化や基幹航路の再編等、海運・港湾を取り巻く情勢が変化する中、我が国の産業競争力の強化、ひいては国民の雇用と所得の維持・創出を図るため、「集貨」、「創貨」、「港の競争力強化」の3本柱の施策を総動員し、ハード・ソフト一体の国際コンテナ戦略港湾政策を深化・加速することにより、我が国に寄港する国際基幹航路の維持・拡大を図ります。

○「民」の視点を取り込んだ阪神港の一体運営の実現

阪神港の一体運営の実現



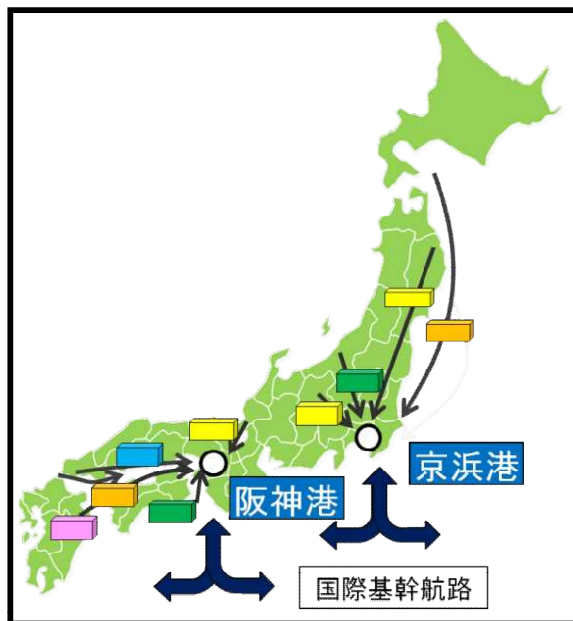
■ 国際コンテナ戦略港湾競争力強化支援事業

国際基幹航路の寄港地決定においては、港湾において揚げ積みされるコンテナ貨物量が重要であるため、国際コンテナ戦略港湾への集貨を強力に推進する必要があります。

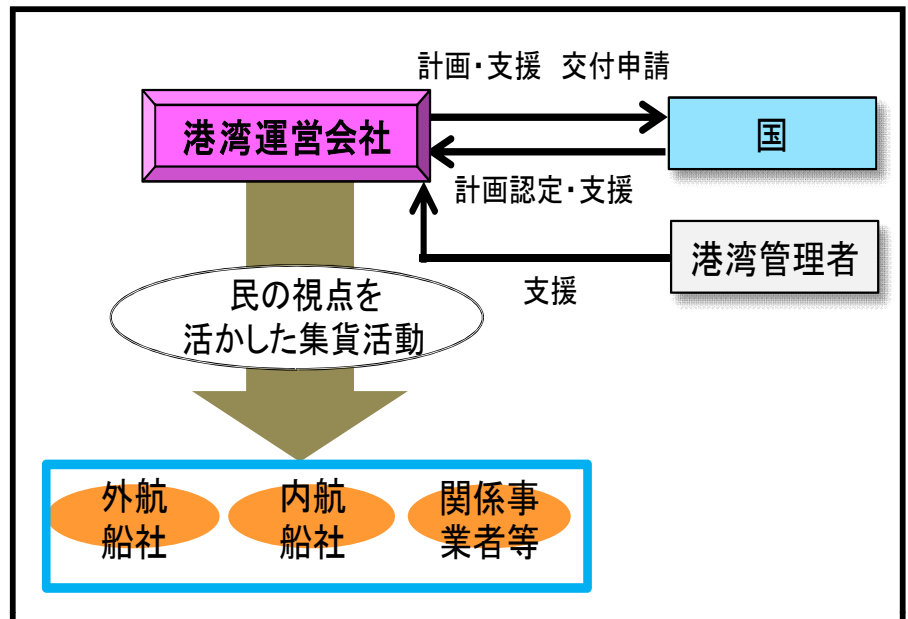
このため、港湾運営会社が内航・外航船社等幅広い関係者に対して、様々な集貨対策事業を総合的に展開するため、同運営会社が実施する集貨対策事業に対する支援制度を創設します。

○想定される支援事業

- ・東アジア主要港での積替貨物を国際コンテナ戦略港湾での積替に転換するための事業
- ・ターミナル機能効率化のための事業
- ・集貨促進を図るための事業



【国際コンテナ戦略港湾への集貨のイメージ】



【支援制度のイメージ】

■ 国際コンテナ戦略港湾貨物積替機能強化実証事業

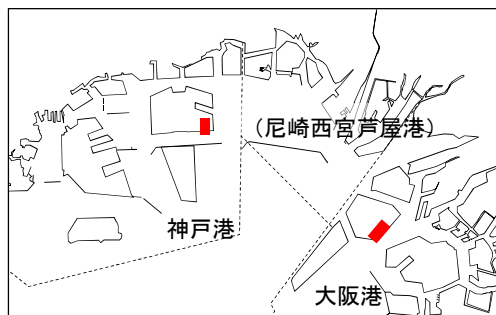
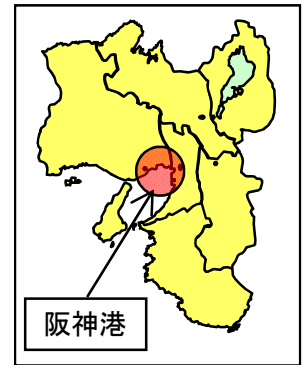
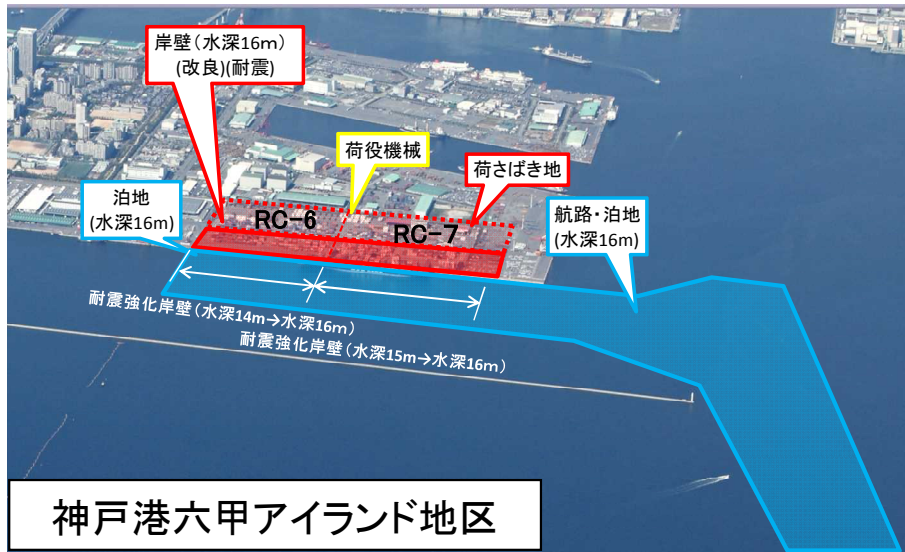
国際コンテナ戦略港湾への集貨を促進するためには、国際コンテナ戦略港湾に貨物を集約し、その貨物を低コストかつスピーディに外航船に積み替えることが不可欠であります。

このため、国際フィーダー航路に就航する内航船等から外航船に積み替えるための貨物を優先的に扱うターミナルを確保し、当該ターミナルから外貨ターミナルへの効率的な積替輸送を可能とすることにより、積替機能の向上に資する実証事業を実施します。

(1)国際競争力の強化

《平成26年度の予定》

神戸港及び大阪港において、国際基幹航路の寄港の維持・拡大を図るため、コンテナ船大型化の進展に対応した国際標準仕様を有するコンテナターミナルの整備を推進します。



日本海側拠点港「京都舞鶴港」の機能強化

日本海側拠点港である「京都舞鶴港」の前島地区において、国内定期フェリーの大型化に対応するため、既存の複合一貫輸送ターミナルを水深9mに増深改良し、地域間交流の拡大、物流コストの削減、環境負荷の低減等を図ります。

《平成26年度の予定》

航路・泊地、泊地の増深改良を引き続き推進します。



通学路をはじめとする歩行空間等の安全・安心の確保

通学路について、緊急合同点検の結果等を踏まえ、歩道整備や防護柵の設置等により、安全な歩行空間を確保する取り組みを推進します。

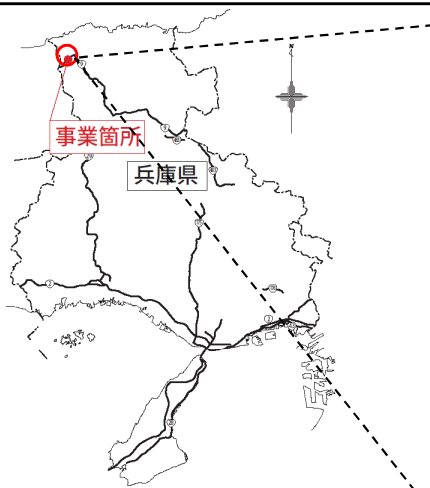
・近畿管内(直轄国道) 通学路全体延長 約233km 近畿地方整備局調べ(H25.4.1現在)



(※交安法第3条に基づく通学路)

兵庫9号交差点改良等(新温泉町鐘尾地区自歩道設置) (兵庫県美方郡新温泉町千原～鐘尾地先)

当該箇所の国道は小・中学校の通学に利用されるバス停留所があり、バス通学の児童等が通行する経路となっているが、歩道幅員が狭く危険な状況になっています。また、並行する町道も幅員が狭く、歩道が未整備で危険なことから、通学路の緊急合同点検において要対策箇所になっており、これらに対応するために、国道の歩道を拡幅することで、児童等の安全・安心な歩行空間を確保します。



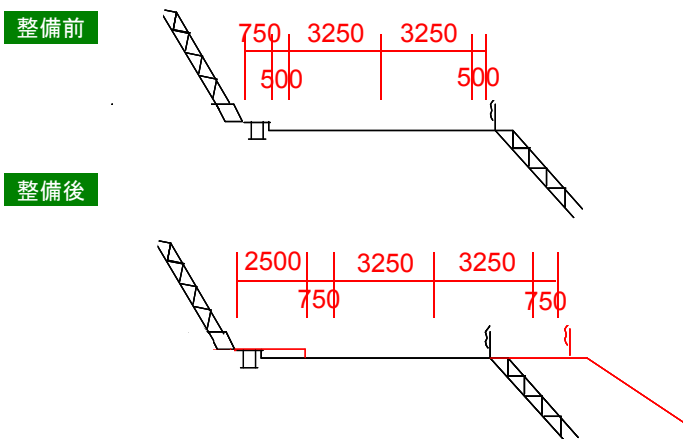
【歩道整備前】



写真



【断面図】



国営公園の整備促進

レクリエーションの場の提供、地域活性化・観光振興の拠点、環境の保全と創出、歴史・文化の保存と継承、さらに発災時には防災機能の発揮など、多様な役割を担う都市公園である国営公園を整備していきます。

■ 国営飛鳥・平城宮跡歴史公園

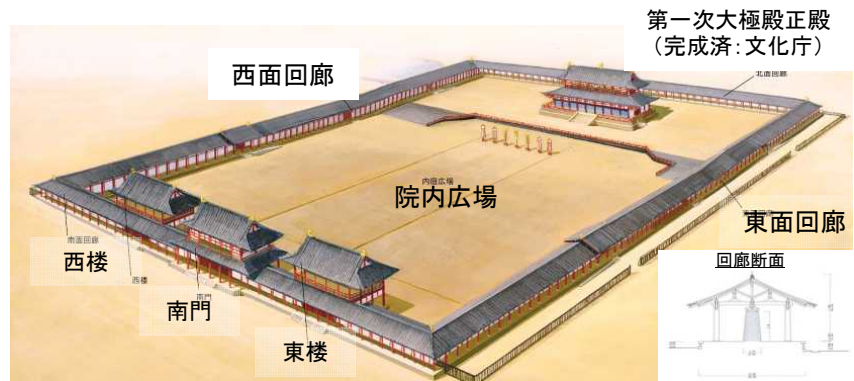
飛鳥区域のキトラ古墳周辺地区において、平成28年の開園に向け、歴史体験学習エリアの広場整備を行うとともに、体験学習館の建築工事を引き続き進めます。また、平城宮跡区域においては、第一次大極殿院回廊基壇工事をを行います。

(飛鳥区域 キトラ古墳周辺地区)



体験学習館 別館・広場の整備イメージ

(平城宮跡区域)



第一次大極殿院の整備イメージ

■ 国営明石海峡公園

神戸地区において、平成28年の一部開園に向け、園路整備、植栽、敷地造成などを行います。

(神戸地区 棚田ゾーン)

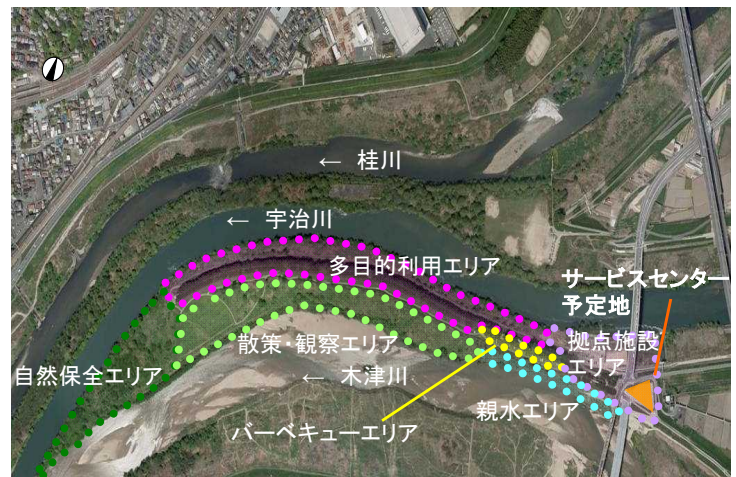


あいな里山まつり

■ 淀川河川公園

背割堤地区のサービスセンターの建築設計、下水道整備などを行います。

(淀川河川公園 背割堤地区)



背割堤地区の整備イメージ

Ⅲ. 主な開通予定箇所、完了予定箇所等

◆平成26年度 主な 開通予定箇所（道路関係）

（直轄事業）

高規格幹線道路

	府県名	路 線 名	箇 所 名	区 間	
				区 間	延長(km) (車線数)
1	福井県	国道158号	中部縦貫自動車道 永平寺大野道路	福井北JCT～松岡IC	2.2km (2/4)
2	京都府	国道478号	京都縦貫自動車道 丹波綾部道路	京丹波わちIC～丹波IC	18.9km (2/4)
3	奈良県	国道24号	京奈和自動車道 大和御所道路	御所IC～御所南IC	2.5km (2/4)

◆平成26年度 主な 完了事業箇所（営繕関係）

（直轄事業）

事業名	工事名等	所在地
官庁営繕事業	神戸第2地方合同庁舎(耐震改修)	兵庫県神戸市
官庁営繕事業	国立京都国際会館(耐震改修)	京都府京都市
官庁営繕事業	海上保安学校(空調改修)	京都府舞鶴市

◆平成26年度 主な開通予定箇所図(道路関係)

